

水戸協同病院 整形外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴> 二次救急病院として地域の中核病院としての自覚を持ち、地域のかかりつけ医の先生方と連携をとり、それぞれの役割のなかで総合的に医療を進めるようにしています。外傷患者さまは救急部と連携し積極的な受け入れを行っております。また近年増加傾向にある合併症の多い患者さまに対しても、内科をはじめとした他科との連携のもと、集学的に治療に当たっております。治療にあたっては、手術のみではなく、適切な保存治療も行っており、またリハビリテーション部と密接に連携することで、より高いレベルでの早期離床、早期復帰を目指しております。

整形外科的疾患のすべてを診療していますが、それぞれの専門分野の診療にも力を入れ、より高度な医療の提供に努めています。

上肢：肩関節周囲炎、変形性肘関節症、手根管症候群、関節リウマチなど

脊椎：頰椎症性脊髄症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど

関節：変形性関節症、関節リウマチなど

スポーツ：疲労骨折、肩関節脱臼、野球肘、靱帯断裂、半月断裂など

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
整形外科専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目

(1) 地域枠(義務年限9年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	A1,筑波大学	水戸協同病院	A2	A3	B,筑波大学	A4	水戸協同病院			
	専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要						(義務年限終了)				
ケース2	初期研修(医師不足地域内)	筑波大学,A1	水戸協同病院	A2	A3	B,筑波大学	大学院進学	大学院進学	A4	水戸協同病院	
	専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要						(猶予)	(猶予)	(義務年限終了)		

(2) 一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	A1,筑波大学	水戸協同病院	A2	水戸協同病院	
	専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要					
	(義務年限終了)					
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	筑波大学,A1	水戸協同病院	A2	A3	水戸協同病院
	専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要					
	(義務年限終了)					

【整形外科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	ひたちなか総合病院、水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター、西南医療センター、高萩協同病院、なめがた地域医療センター、県西部メディカルセンター
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学、茨城県立医療大学
C群病院群(県外・海外病院)	—